

ほけんだより 令和7年8月発行 こま草保育園 看護師

本格的な夏が到来しました！朝からとっても暑いですが、こどもたちは元気いっぱい水遊びや虫探しなど夏の遊びを満喫しています。熱中症に十分注意しながら過ごしていきたいと思います。暑い夏を元気に乗り切りたいですね！



暑い夏を元気に乗り切るポイント

1. 水分補給

大量に汗をかくと、脱水症状を起こし、熱中症の原因にもなります。こまめな水分補給を心がけましょう。



2. 皮膚のケア

こまめに汗をふいたり、シャワーを浴びたりして、皮膚を清潔に保ちましょう。

3. 紫外線対策

外出時は帽子をかぶり、日焼け止めを塗るなどの紫外線対策も忘れずに。



4. 室温管理

高温・多湿など条件がそろえば、室内でも熱中症は起こります。エアコンをじょうずに使いましょう。ただ、冷やしすぎには要注意。設定温度 27~28°C を目安にしましょう。

最新感染症情報

7月に入り、りんご病の感染が広がり、ご心配をおかけしています。徐々に落ち着いてはいますが、まだ発症する子は出ています。皮膚症状が再発している子もいます。また、潜伏期間が10日から20日と長めであることから、もうしばらく経過を見ていく必要があります。

汗疹等の肌荒れを起こしやすい時期であることや、同時に溶連菌感染症や、手足口病など皮膚症状の出る感染症も出ていることから、発疹が出ていてもりんご病かどうかの判断が私たちでは難しいため、気になる症状のあるお子さんには受診のお願いをさせていただいています。

登園については医師の判断となりますが、皮膚症状が出る頃には感染力はほとんどないため、園としては登園を控える必要はないと考えています。

りんご病の場合、日光に当たると皮膚症状が悪化する場合があるため、水遊び等の園外での活動については保護者の方がお子さんの皮膚症状を見てプールバッグを持たせるか等の判断をしていただければと思います。悩む場合はご相談ください。